

秋の彼岸によせて

令和元年九月 大乘寺 長老 岡 光俊

アフリカやブラジルで大規模森林火災が発生、我国では記録的豪雨、猛暑。

温暖化が加速する現象が起きていることに人類皆が危機感を持ち、即急の対策を世界レベルで進めるべきときではないでしょうか。森林破壊が生態系を大きく壊すということは、誰もが理解していることですが、もはやその事態も飛び越えて異常気象による作物の凶作、食料不足から、一気にその先へ進むことも懸念されています。

今や金融、政治、経済等、全てが地球規模で連動しています。日本の経済力を引っ張ってきた電気産業は敗退、自動車産業も同じ道を辿ろうとしています。

誰もが経験したことのないスピードで、激変し続けています。

そのようななか、人類は生まれながら持つ能力を如何に最大限に発揮できるか、いつの世にも問われ続けてきました。

お釋迦さまの説かれた経文には「如是」の文字が多く使われています。「かくのごとく」、「このように」の意味ですが、宇宙、自然界、霊界、神佛、人間を「このように」捉えることが大切であり、お経はいつの時代でも最大の智慧、神力を与えることができると説かれています。

如是は、個人のそれぞれ今の状況で皆違う如是と、人類の一人として今問われている如是があります。

今、この佛さまの問いかけをご先祖さまの問いかけと捉えて頂ければ、彼岸の縁が活かされるものとなるでしょう。

己に如是と問いかけて頂き、己のできることを、また皆でできることを。

世界が平和でなければ日本が平和であることはあり得ない時代です。

他国の難民の方々の姿を見ても、国が守られずに民に一切の保証

はなし、食料もなにもなし、大自然が生きとし生けるものに背を向けて人類が生き残れる筈はなし。

秋の彼岸、墓前に参拝され、ご先祖さまを偲び、心より手を合わせ、ご先祖さまのご苦労に感謝し、ご先祖さまはなにを想って皆さまを見守って下さっているのか、静かに「如是」を問う一時とされ  
ますよう。

合掌